

## 私の「実りの秋」

八潮市立松之木小学校  
教頭 城山 和彦



今年の秋は夏日（なつび）となる日もあり、「紅葉の秋」「食欲の秋」「読書の秋」と言われる雰囲気、例年より感じづらくなっています。それでも、季節は刻一刻と冬に向かっており、朝夕は涼しさを越えて寒さをも感じる時があります。本校の児童たちの装いを見ても、いろいろと工夫している様子が見えがえます。

さて、みなさんは、「実りの秋」という言葉を知っていますか？「実りの秋」というと何を思い浮かべますか。春から育てた穀物や果物などの収穫期を迎え、私たちの食文化の豊かさを思い浮かべる人。稲刈りや梨狩り、リンゴやブドウ狩りを体験し、食物が育った様子を思い浮かべる人。大好きな栗ご飯や焼き芋を思い浮かべる人。スーパーでたくさん並べられた秋の食べ物の柿やみかんを思い浮かべる人。通学路にある色づいた柿を思い浮かべる人。それぞれの児童には思い浮かべるものがあり、思い浮かべるものはみんな違って良いと思っています。

先日は、一年生が「秋を楽しもう」という学習で、近くの公園に行ってきました。秋色に染まった木の葉を拾ったり、何種類かのどんぐりを拾ったりして、季節の変化を体で感じてきました。落ち葉にはいろいろな形があり、色の違いがあり、大きさも違っていました。木の実にも違いがあり、それらの違いに気づいて拾い集め、楽しんでいる児童もいました。児童たちは、この時に拾い集めた落ち葉や木の実を教室に持ち帰って作品作りに取り組みます。自分で拾い集めた「実りの秋」を使って、私の「実りの秋」を膨らましていきます。

みなさん自身の「実りの秋」は、どのようになっているのでしょうか。「実りの秋」とは、決して植物だけでなく、私たち人間にも置き換えることができます。これまで頑張ってきたことが「実り」となる「秋」になっているのでしょうか。自分自身に問いかけてみてください。これまで頑張ってきたことが実を結んできていますか？ 頑張ってきたことが結果として表れてきていますか？ 毎日少しずつ頑張ってきたことで、テストの点数が上がってきていますか？ 授業中の先生の説明がわかるようになってきていますか？ もちろん、今、結果が結びついていなくても良いのです。今、成果が出てきていなくても良いのです。少しずつの頑張りが、私の「実りの秋」となって見えてくる時が必ずあります。私の「実りの秋」を追い求めて、今の自分を見つめ、少しずつ努力を積み上げていきましょう。